



4人のお子さんを持つ佐藤先生。「家庭で自分の子と一緒に読書や読み聞かせをする時間も増やしたいです」とのこと

たいてい「いいにおい」だけ。「いいにおいって、どんなにおい？」とさらに聞くと「はちみつみたい」「チョコレートみたい」など、いろいろな表現が出てきます。絵もイメージで描くだけではなく、うさぎなら、触ってその感触を確かめてから、アジサイは目の前にその花を見ながら描くなど、写生的なこともしています。

佐藤 ひらがなを書く練習をした方がいいかとか、給食は何分間で食べないといけないのか、家庭では何をさせたほうがよいか、などよく質問されます。ひらがなは、一文字ずつ覚えることより、言葉の数を増やすことから始めてほしいと言います。それから読めるようになり、書けるようになるという段階がありますので。

給食の時間は20分です。家庭では、だからだと食べるのではなく、ある程度の時間の目安を持って楽しく食べてほしい。また、我慢するということも覚えてほしいです。

Q・保育所と小学校の連携について今の取り組みと、今後の展望を聞かせてください。

佐藤 総合学習の時間を使い、小学6年生と年長の交流など、昨年度までもしてきましたが、さらに発展させる予定です。また、年長の遠足先を小学校にして、一緒に給食を食べたり、掃除をしたりしながら、小学校での一日体験を何度か行う計画を立てています。先生ではなく、少し上の先輩から指導してもらうことは園児にとってよい刺激になり、小学校を見学することで入学への心構えもできます。

私が保育所に来ることがきっかけで、保育士と教員の連携が深まり、お互いの指導の仕方を知り、レベルアップできればと思います。

今は、所子保育所だけの勤務ですが、今後町内のほかの保育所へも行きたいですし、教育委員会との連携も深めたい。それぞれ特色のある保育所づくりに興味があります。

～ちよつと紹介～

所子保育所で男性の保育士（のタマゴ）発見！臨時職員の松田さんと、保育士になるため実習中の中沢さんを紹介しします。



中沢義人さん（唐王、20歳）

島根の専門学校で保育士になるための勉強をしています。実習中の感想は、体力的に思ったよりきつい…でも純粋な子どもたちがかわいいです。よい保育士になれるようがんばります！



松田 剛さん（押平、24歳）

4月から2歳児クラスの保育をしています。疲れを知らない子どもたちに、体力的に鍛えられ、体重も10kg近く減りました。子どもたちに負けないくらい元気に日々を過ごしています。特技は折り紙です！

佐藤先生について一言

○小谷篤子所子保育所 長補佐から「一生懸命さが伝わってきます。保育指導方法にも積極的に意見を言ってもらい、お互いの刺激になっていきます。小学校の現場からアドバイスをしてもらえるところ、保護者からも頼りにされ、期待されています」

○年長児担任の小原敦子保育士から「パワー全開の子どもたちに負けない、元気にいっぱい佐藤先生です！保育に関わってもらおうことで、小学校との連携や子どもたちのより良い成長を願い、共に継続して生かされる取り組みになるようにしたいと思います」